



NISHIO

× **EDGE+R**

**2022年度EDGE+R
企業協賛WS
| 防災のチカラ**

西尾レントオール×立命館大学編

～防災の意味を再定義する～

アイデアWS：8/25 (THU) ・ 26 (FRI)
@OIC
防災WS：9/24 (SAT) ・ 25 (SUN)
@&3 PARK

2022 年度 EDGE + R プログラム 企業協賛ワークショップ

「防災のチカラ 西尾レントオール(株)×立命館大学編」

～“防災”の意味を再定義する～

【募集要項】

【概要】

立命館大学 EDGE+R プログラムでは、社会にイノベーションを興すマインドと力を持った人の輩出を目指し様々なプログラムを実施しており、その一環としてイノベーションを積極的に推進する企業と連携してワークショップを開催しています。本 WS は西尾レントオール株式会社と EDGE+R プログラムレギュラーコース受講生、そして今回ご応募いただく皆様と共同で行います。

8 月開催のアイデアワークショップでは、デザイン・ドリブン・イノベーションの手法※を用いて「ありきたりの防災ではなく防災の意味を考え再定義し企画書を作成」し、9 月にはその「企画書から選ばれたチームが実際に JR 三ノ宮駅南側駅前広場 “&3 PARK” にて一般の方へ向けた《防災 WS の体験ブース》を提供」します。新しいことにチャレンジしたい方、課題発見力を身に着けたい方、チームで1つのものを作り上げることに興味のある方は奮ってご応募ください。

※デザイン・ドリブン・イノベーションの手法とは・・・近年ヨーロッパを中心としたデザインマネジメント手法として注目されており、自己の（「内」にある）ビジョン駆動型の「Inside Out」のアプローチ手法である

【協賛企業紹介】 西尾レントオール株式会社

社会では仕事や生活で様々な物品がレンタルで使われています。特定の物品を所有するのではなく、時間や場所、経済性の制約を軽減して多様な活動を行うことができるからです。西尾レントオール株式会社は、建設やイベント分野を中心に様々な物品をレンタルしている企業です。本社機能を大阪市北区の『『みどり』のリビングラボうめきた外庭 SQUARE』（屋外）に一時的に移転したことで注目を集めています (<http://www.nishio-rent.co.jp/2020/09/30/39254/>)。

開催日時：

①アイデアワークショップ

日 時/ 2022年8月25日（木）・26日（金）両日 10:00～17:00 予定

場 所/ 大阪いばらきキャンパス（OIC） B 棟 B374 コロキウム

②防災ワークショップ

日 時/ 2022年9月24日（土）・25日（日）両日 10:00～17:00 予定

場 所/ J R三ノ宮駅南側駅前広場 ”& 3 PARK”

講 師：後藤 智先生/EDGE+R プログラム副総括責任者・経営学部准教授

福森 隆寛先生/EDGE+R プログラムメンター・情報理工学部講師

定 員：30 名程度（応募者多数の場合には抽選）

応募資格：立命館大学に所属する学生（学部，大学院，専門，学年，国籍等は問いません）

①アイデア WS と②防災 WS※の計 4 日間参加可能な方

（特に※②は、①の WS にてご自身のチームの企画書が選ばれた方は必須です）

使用言語：日本語

参加費用：無料（①の交通費は自己負担）

応募方法：下記フォームよりお申込みください（締切は 7/20（水） 23:59 です）

応募フォーム URL：

<https://cw.ritsumei.ac.jp/campusweb/SVA20D0.html?key=SUR20220524152601367801>

019

問い合わせ先：立命館大学 びわこ・くさつキャンパス 共通教育課

EDGE+R プログラム運営事務局

担当/野神・吉川

TEL： [077-561-5910](tel:077-561-5910)

Email: r-edge@st.ritsumei.ac.jp

※お気軽にお問合せ下さい。

【コロナウイルス感染拡大予防対策に関して】

～みなさまにお願いしていること～

- ・「自らが感染しない」「人に感染させない」ための行動の徹底
 - 建物の入り口などには消毒液を設置しています
 - こまめな消毒・手洗いを心掛け、各自清潔なハンカチを持参するようにしてください
- ・「マスク着用」の徹底
 - 通学時及びキャンパス（会場）滞在時には、マスク着用を義務付けています
- ・登校前の検温、体調不良時は外出しない（登校・出勤しない）ことの徹底
 - 皆様は事前にご自宅で検温を済ませ、37・5 度以上あれば参加を見合わせるなど、体調管理をお願いします
 - 施設内で検温器を使用して 37.5 度以上の発熱等の症状がわかった場合は、速やかに帰宅して症状がよくなるまで自宅療養してください
- ・「ゼロ密」（密閉・密集・密接のうち一つの密でも避けること）を心がけましょう

詳しくは、下記のガイドラインを事前にご確認ください。

[立命館大学における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン（第4版）（2022年6月1日改訂）](#)